第9回 寺院資料調査
研究報告

「地方経蔵」の面白さを探る

2026年
9月12日(土)
13:00〜17:00

会場 大阪大学 豊中キャンパス
文法経本館2階 大会議室

全国各地の寺院に伝存する聖教や古文書をはじめとする寺院資料は、単なる個別寺院の記録にとどまらず、中近世における地域の歴史、僧侶間の学問的・修学的なネットワーク、そして固有の宗教文化圏の形成と広がりを解明するための一級の一次史料です。

9回目を迎える本報告会では殊に「地方経蔵」を調査することの意義を改めて問い直してみたいと思います。名も無き僧の活動から見える歴史の裏舞台や、眠っていた資料から謎を解き明かす「経蔵研究の面白さ」など、寺院資料調査の最前線にいる報告者を中心に意見交換の機会となることを願っています。

福聚山清水寺縁起の検討
—縁起と寺院復興の営み—
公益財団法人元興寺文化財研究所 研究員
向村 九音

善通寺蔵『古歌新歌説教要集』について
—蓮体著作の妥当性
武庫川女子大学 教授
山﨑 淳

真言僧龍肝の足跡と聖教の集積
—阿波正興寺所蔵文献を中心に—
鳴門教育大学 准教授
平川 恵実子

南北朝内乱と遍智院宮聖尊
—萩原寺への六方憲深方相承前史—
大阪大谷大学 特任講師
橘 悠太

司会 大阪大学 招へい研究員
中山 一麿

◎事前申込不要。一般聴講も歓迎いたします。
ウェブサイト https://jarsa.jp/jishiken09
お問い合せ knpro.info@gmail.com

共催

科研費 KAKENHI

基盤研究(A) 研究代表者:中山一麿／25H00467
「地方寺院経蔵の再生を基盤とする宗教文化圏の解明」

若手研究 研究代表者:橘悠太／25K16410
「寺院聖教に対する調査手法の模索的研究
—経典原装にみえる諸情報の分析を中心に—」

基盤研究(C) 研究代表者:平川恵実子／22K00341
「寺院・僧侶間交流の実態解明のための地方寺院所蔵文献の調査研究」

基盤研究(C) 研究代表者:山﨑淳／26K03682
「新安祥寺流の広がりと近世仏教説話の伝播・説話集形成に関する研究」